

のり養殖通報第11報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成31年2月21日発行

[気象・海況]内湾は依然リン低レベル、富津岬南は沖合水波及継続

- 1月下旬は気温はほぼ平年並みで経過したが2月に入ると気温の変動が大きくなり平年を上回る日が増えている。また1月中はほとんど降雨が無かったが2月上中旬には31mmのまとまった降雨があった。気象予報では今後、気温は平年を上回る日が多く天気は周期的に変化すると予想されている。
- 2月18～19日の観測では表層水温は内湾が8～10℃台、内房は10～11℃台で昨年同期とほぼ同じ値であった。内湾では植物プランクトン（優占種はキートケロス等の小型珪藻）がやや多い状態が続き、リンの値は低レベルが続いている。内房もリンの値がやや少ない地点があるが湾奥部よりやや多い量が含まれている（表1）。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では、12月下旬以降断続的な沖合水の波及が続いている。1月末には一旦波及が弱まったが2月初めに再び強まり、現在も水温10℃～14℃台の間での変動が続いている。

[今後の留意点] 栄養塩回復に期待

- 富津岬以南では沖合水の波及で高い水温が続き、現在も魚類の食害対策を余儀なくされています。比較的水温の低い場所を有効に活用し、対策を施しながら状況好転を待ってください。
- 2月18～19日の観測結果では、窒素は全域で十分な量が含まれていましたが、リンは低レベルが続いている地点があります。観測終了後にまとまった降雨があり23日にも降雨が予報されていることからリンの値は今後の回復が期待できます。計画的な網管理で良質ノリの増産を目指してください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
次回は3月4日頃発行します。

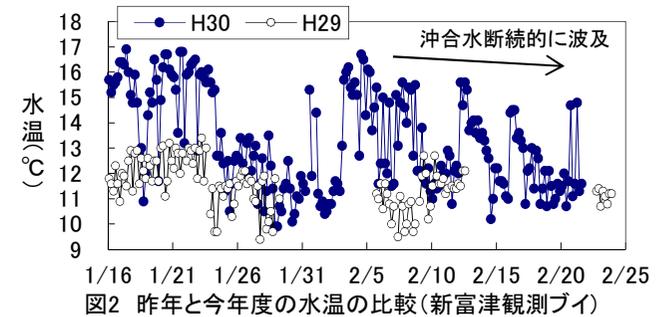
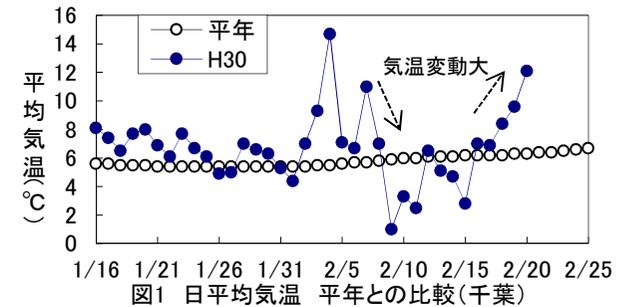


表1 水質観測結果(内湾2/18, 内房2/19)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	8.6	31.2	8.5	2.7	359	1
盤洲Cブイ	10.6	31.8	8.4	4.0	321	1未満
盤洲Bブイ	9.5	31.8	8.4	4.3	364	2
盤洲Aブイ	9.2	32.1	8.4	4.5	354	3
富津ベタ	9.2	31.7	8.3	3.8	391	7
2海ほ下	11.4	33.2	8.2	5.0	244	9
1海ほ下	10.9	33.1	8.2	4.0	250	9
下洲ベタ	10.9	33.1	8.3	4.7	225	6
大貫ベタ	10.8	33.4	8.3	7.5	173	4

*溶存無機態窒素 (μg/l)、**リン酸態リン (μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素110 リン8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素90 リン5